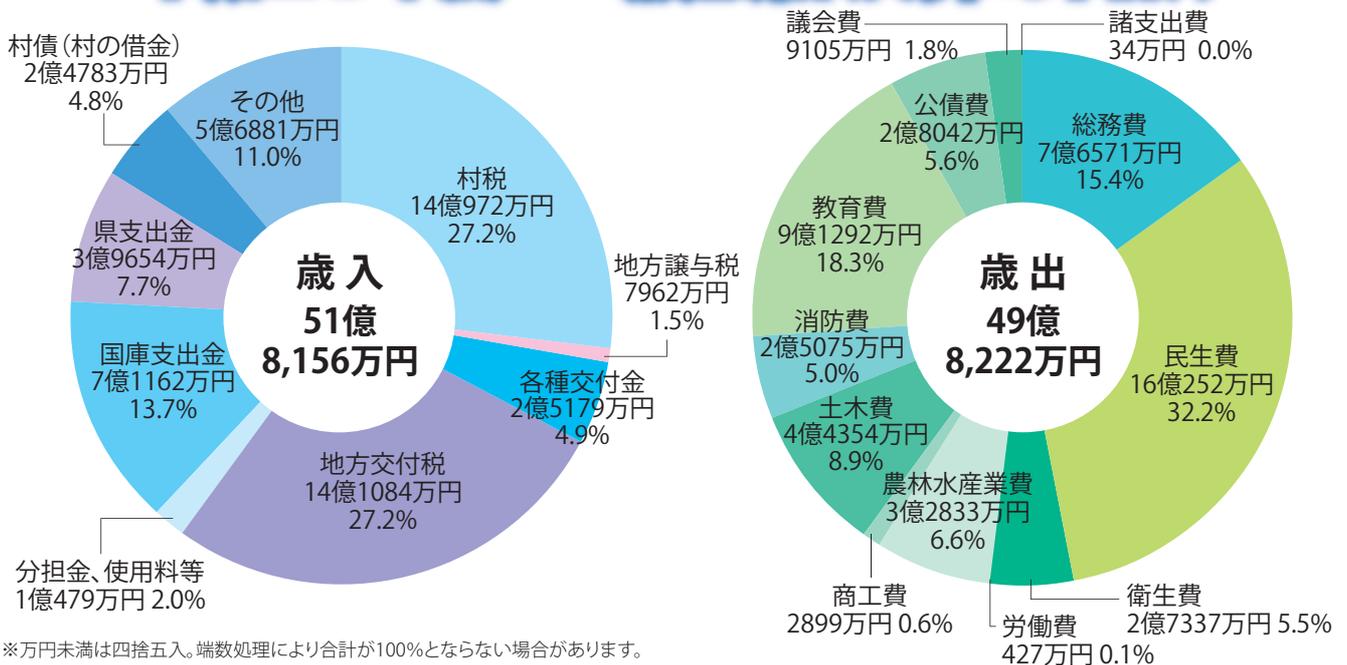


隅々まで徹底チェック!

した。本定例会では、平成25年度決算の認定が10件、条例の判定などの議案が

平成25年度 一般会計決算の内訳



一般会計 全会一致で認定

平成25年度一般会計歳入決算額は、51億8,156万円、前年度対比105.6%、歳出決算額は、49億8,222万円、前年度対比107.3%でした。

主な歳入は、村税14億9,722万円、前年度対比102.1%で29,577万円の増額、地方交付税14億1,084万円、前年度対比99.9%で52万円の減額でした。

主な歳出は、民生費16億2,522万円、特に社会福祉費が9億5,644万円、児童福祉費が6億4,567万円、いずれも前年比より増えています。

また、総務費は、7億6,571万円、総務管理費は6億4,116万円と前年より増額でした。

歳入歳出差引額は、1億9,344万円、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す財源を引いた実質収支額は、1億2,637万円の黒字となっています。

監査委員の審査意見

村長より審査に付された一般会計及び特別会計に係る平成25年度歳入・歳出決算について、7月14日～8月1日まで(実8日間)の間、審査を実施した。各会計に係る歳入・歳出決算、歳入・歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他書類を照合した結果、誤りのないものと認められ、予算の執行及び関連する事務も、適正に行われているものと認められた。

監査委員

岩崎 唯雄
 柏井 保夫

村のお財布を

平成26年第3回定例会は、9月3日より18日までの16日間の会期で開かれま
12件、報告が1件、全部で23件が提案され、いずれも可決しました。

村の預金

総 額	59億4482万円
村民一人あたり	41万円
【前年度対比 105%】	

(一般会計)

財政調整基金	23億1929万円
減債基金	2億6979万円
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金	3463万円
地域の元気臨時交付金事業基金	5081万円
社会福祉施設整備基金	2938万円
地域福祉基金	1億6603万円
ふるさと創生基金	3672万円
農業災害基金	558万円
農業用水維持管理基金	※17億5903万円
義務教育施設整備基金	8億333万円
社会教育施設整備基金	2億円
土地開発基金	1億5517万円
収入印紙等購買基金	100万円
小 計	58億3076万円

(特別会計)

国民健康保険基金	1億1003万円
介護給付費準備基金	1381万円
自然エネルギー発電運用基金	403万円
小 計	1億2787万円

※17億5903万円のうち1億9千万円については、榛東村白子の海ソーラーポートでの運用を行っている。

村の借金

総 額	74億6800万円
村民一人あたり	51万円

(平成26年3月末現在14,614人)

一般会計	31億8072万円
介護保険特別会計	160万円
住宅新築資金等貸付特別会計	9396万円
公共下水道事業特別会計	23億928万円
農業集落排水事業特別会計	18億8244万円

村の実質公債費比率 6.2% (前年度比0.2ポイント悪化)

実質公債費比率とは、実質的な公債費（地方の借金の返済金）が財政に及ぼす負担を表す指標です。通常は3年間の平均を使用。



平成25年度に完成した南小プール

平成25年度 会計別決算

会 計 名	歳 入	歳 出	審 議 結 果
一般会計	51億8156万円	49億8222万円	全員賛成
国民健康保険特別会計	17億4771万円	15億6182万円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	1億54万円	1億54万円	全員賛成
介護保険特別会計	9億8104万円	9億5754万円	全員賛成
住宅新築資金等貸付特別会計	2339万円	2339万円	全員賛成
公共下水道事業特別会計	4億8785万円	4億8785万円	全員賛成
農業集落排水事業特別会計	1億2298万円	1億2298万円	全員賛成
学校給食事業特別会計	1億5759万円	1億5720万円	全員賛成
自然エネルギー発電事業特別会計	1億5515万円	1億5386万円	全員賛成
上水道事業会計	収益的収支	2億5766万円	全員賛成
	資本的収支	500万円	
		7943万円	

※万円未満は四捨五入。

審査を行う

全員賛成で 認 定

9月11日の本会議にて、平成25年度一般会計決算が提案されました。質疑を行った後、予算・決算特別委員会へ※付託されました。議長を除く全議員で組織されている当委員会では、9月12、16、17日の3日間にわたり、各課に分けて慎重に審査を行いました。多数の議論が活発に交わされ、村へ提出する要望及び改善事項のとりまとめは、今回初めて設置した小委員会にて行いました。

※付託とは
議会の議決に先立ち、常任委員会や特別委員会などに詳しい審査を委ねること。

コストの検討を

問 広報しんとうの印刷製本費が248万円になって

いますが、過日、議会運営委員会で研修を行った大和町では、印刷製本費は1ページあたり85銭とのことでした。村では何銭かかっていますか。

答 総務課長 村では1ページあたり2円50銭です。業者は入札で決めています。紙質とか、カラーの使い方でも多少単価は違ってくると思いますが、検証したいと思います。

防犯灯のLED化は

問 防犯灯のLED化はどのようになっていますか。

答 総務課長 修繕箇所は従来の蛍光管を使い、新設はLEDに置きかえています。

問 今年度、吉岡町は1000ヶ所、補助金を使って防犯灯をLED化するとのことですが、榛東村でも使える補助金はないのですか。



答 総務課長 研究します。

固定資産税の徴収率が悪い要因は

問 村税の中で固定資産税の徴収率が一番悪く、収入未済額も多いのはなぜですか。

答 総務課長 バブルの時、法人が畑を買って、宅地や雑種地に変更して更地のままになっており、固定資産税が未納になっている土地が多くあります。山子田地区の某ホテルなどは典型的な例です。

問 吉岡町は徴収率が高いので、学ぶべきことがあるのではないのですか。

答 総務課長 確かに、徴収率は吉岡町92・9%、榛東村88・4%です。今後、吉岡町に追いつけ、追い越せで頑張ります。

うつ病対策の講演会を予定

問 ※ゲートキーパー研修を来年度以降も行う予定はありますか。

答 健康保険課長補佐 今年度は一般住民向けにストレスに対処する方法、うつ状態にならないための対処方法などの講演会を開く予定です。

※ゲートキーパーとは

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができ、いわば「命の門番」とも位置づけられる人のこと。

補助金600万円は高額ではないか

問 部落解放同盟榛東支部補助金が600万円というのは高額ではないですか。

答 住民生活課長 昭和60年代後半に部落解放基本法が制定され、当団体には、現在人権問題に熱心に取り組んでいたという思いがあります。600万円は有効に使われていると認識しています。

予算・決算特別委員会

3日間にわたり慎重

要望書

- ・村税等の収入未済額が多額で、減らすよう対策を講じること。
- ・事業を行うにあたっては、補助金の確保に努めるとともに、補助金の目的に鑑み、適切な運用を図ること。
- ・電気料削減のために新電力の導入を検討すること。
- ・子育て支援はもちろんのこと、さらなる少子化対策の充実を図ること。
- ・防災ラジオが場所によっては聞こえない原因を調査し、今後の対策を講じること。
- ・がん検診の受診率を高めるとともに、精密検査の対象となった方には医療機関での受診を啓蒙すること。
- ・スポーツだけでなく、文化面においても壮行金制度を創設すること。
- ・主要施策の成果説明書の記載内容は、成果がわかりやすいよう十二分に精査のうえ作成すること。

御堀地区の舗装工事は

問 御堀地区215メートルの改良舗装をしたのは緊急性があり、生活道路であるとして説明していたが、納得できないので、詳しく説明してもらえますか。

答 建設課長 緊急性については、軽トラックがカーブで脱輪する。生活道路は人家があ

って交通量が多いところです。

中学生の交通指導強化を

問 中学生に対する交通指導を強化し、特に交差点での一時停止の徹底してもらえないですか。

答 教育長 中学校に要請するとともに、関係機関とも協

力して、事故のないように取り組んでいきます。

問 自転車保険料を補助して保険加入者率を上げようですか。

答 副村長 自転車運転者が増えること、加害者になることもあるので、こどものために親の責任で加入してもらおうことが必要ではないでしょうか。



交通ルールを守って通学

審査方法を変更

一般会計決算は、今まで本会議で審査を行っていましたが、今回は予算・決算特別委員会に付託され、審査を行いました。そうすることで議員個人の意見ではなく、議会としての意見を要望書としてまとめ、村長に提出し、要望実現を議会として、執行に迫ることができるようになりました。